2022年度　入園のご案内

認定こども園　聖ルカ幼稚園

〒917-0072　福井県小浜市千種2丁目9-22

TEL(0770)52-0995　FAX(0770)53-0055

http://www.seiruka.ed.jp

序言……「天使たちを天使のままに」

人の世で、身も魂も、ほんとに美しいのは幼児（おさなご）です。

聖書には「幼子のようにならなければ天国にいくことは出来ない」とあります。

天使を天使のままに育てるのが、私達の教育です。

自然の中で野の花を摘んで遊び、小鳥に語りかけて跳び廻り、泥んこになって友達と遊び、おたまじゃくしをとってきて蛙になるまで観察して不思議がり、四季の変化から神様に感謝することを覚えてお祈りをする。子どもの姿はまさしく天使そのものです。

本園はキリスト教の愛の精神を基盤とし、保育者は祈りつつ愛の眼差しを一人一人に注ぎ、幼児の生き生きした本来の姿を認め、生活の中に愛が生まれ、天使たちを天使のままに育てていく保育を心掛けています。これが私達の実践であり、祈りでもあります。

本園の沿革

本園はキリスト教（英国国教会＝聖公会）ミッションの幼稚園として 1918 年（大正 7 年）に設立されました。聖公会は、英国カンタベリーに大聖堂があり、世界中に広がっています。日本には聖路加国際病院・立教・平安女学院・神戸松蔭・桃山学院大学など、8 つの大学、300 の教会、200 以上の幼稚園・保育園が全国で教育と社会奉仕をしています。　本園は小浜の地のみならず日本の幼児教育の先駆となりながら、雲浜村字西津に西津幼稚園の名のもと、“愛にもとづいた教育”の願いをこめて保育を続けてまいりました。

その後、園舎を現在の地に移し、園名を聖ルカ（新約聖書のルカによる福音書と使徒行伝の著書。ギリシャ語で「光を与える」の意）と改め、聖ルカ教会の宣教と奉仕の働きの一環として幼児教育に大きな貢献をしております。

昭和 56 年 4 月、学校法人の認可を受け、尊い伝統を守りつつ、保育内容の一層の充実に取り組みながら、地域の幼児教育に誠心努力して今日に至っております。

戦後の幼稚園教育の発展は実に著しいものがあり、また今までに当幼稚園に寄せられました OB、保護者各位のご後援が、当幼稚園を今日の姿に育て上げて下さいました。

2019 年 11 月に 100 周年を迎えられましたのも、こうした方々のご好意ご後援の賜物であります。

また、聖ルカ幼稚園は子ども達の未来を見据え、世界に羽ばたく子ども達をよりよい環境の中で教育、保育に力を注ぎたいと考え、2020 年 9 月より私立幼稚園から、幼保連携型認定こども園として新しい一歩を踏み出しました。0 歳児からの入園を受け入れ、乳児期からの質の高い発達を目指しており、モンテッソーリ活動を始めております。

また、当園で取り組んでおりますリズム運動を、生活の土台としていくことから新園舎のホールを広くとりました。また、玄関から一歩入れば教会が見えます。心の原風景が残るここちよい園舎となっております。

子ども達の未来が豊かで幸せでありますように日々、願いを込めたいと思います。

園長 橋本　美恵子

1　施設運営主体

名　　称	学校法人聖ルカ学園
所　在　地	福井県小浜市千種２丁目９番22号
電 話 番 号	０７７０－５２－０９９５
代表者氏名	理事長　木崎　美礼

2　利用施設

施設の種類	幼保連携型認定こども園
施設の名称	認定こども園聖ルカ幼稚園
施設の所在地	福井県小浜市千種２丁目９-２２
連　絡　先	電話番号　０７７０－５２－０９９５
管　理　者	園長　橋本　美恵子
対象児童	満３歳以上の小学校就学前児童及び保育を必要とする満３歳未満の乳幼児
利用定員	＜１号認定子ども＞ 満３歳以上の小学校就学前の園児のうち、２号認定子ども以外の園児　　２４人 ＜２号認定子ども＞ 満３歳以上の小学校就学前の園児のうち、保育を必要とする園児　５４人 ＜３号認定子ども＞ 満３歳未満で保育を必要とする園児　　２２人
敷地面積 延べ床面積 開設年月日	1725.15 ㎡ 855.68 ㎡ ２０２０年９月１日

3　教育・保育を提供する日

認定区分	提供する日	休業日
１号認定子ども	月曜から金曜日	土曜日、日曜日、祝祭日 夏季休業（７月２１日～８月３１日まで） 冬季休業（１２月２４日～１月７日まで） 春季休業（３月２４日～4月３日まで） その他園長が必要と認めた日時とする。 ※夏冬春休業日が土日祝日と重なる等の理由により変更になることがあります。
２、３号認定子ども	月曜から土曜日 （土曜保育は申込みが必要）	日曜日、祝祭日 夏季休業（８月１３～１６日） 年末年始（１２月３０日～１月３日） 春休み　（３月３０日・３１日）

4　教育・保育の提供時間

支給認定区分ごとに、次のとおり利用可能な時間帯が異なります。

認定区分	教育・保育時間	利用可能時間
１号認定子ども	教育標準時間（概ね４時間程度）	８時半～１４時半【※１】
2.3 号認定子ども	保育標準時間（最大１１時間） 保育短時間（最大８時間）	７時半～１８時半【※２】 ８時～１６時【※３】

※一時預かり保育、延長保育の申し込みを受け付けております

5　保育料

(1)　保育に係る利用者負担額は、0,1,2 歳児は市町村が定める利用者負担額となります。
　　３歳児からは無償です。

(2) 特定教育・保育の質の向上を図るための特定負担額（上乗せ徴収）と実費徴収がかかります。

1　特定負担額（上乗せ徴収）

項目	内容、理由及び目的	対象園児	金額
施設管理費	施設･周辺環境の維持･整備･充実の為の費用	全園児	月額　1,300 円

2 実費徴収

1	給食費	週　5 回	1号子ども･･主食･副食 2 号子ども･･主食･副食 3 号子ども･･保育料に含まれますので、実費徴収はありません。	主食費　1,200 円 副食費　4,500 円
2	バス利用料	バス運行協力費	利用者 同時在園の場合は半額	月額　片道 2.000 円 往復 4.000 円
3	絵本代	定期購読　絵本代	2～5 歳児	月額　約 450 円
4	英語受講料	月 1 回	年少･中･年長児 (3、4、5 歳児)	月額　300 円
5	運動遊び	年 6 回(隔月)	年少･中･年長児 (3、4、5 歳児)	1 回　500 円
6	プール指導	月 2 回	年少･中･年長児 (3、4、5 歳児)	1 回　500 円 (バス送迎含む)
7	ミュージックケア	月 1 回	年少、未満児	1 回　300 円
8	モンテ活動受講料	月 2 回	全園児	1 回　600 円 (教材費含む)
9	PTA 会費	保護者運営費	全園児	月額　750 円
10	健康診断費	内科、歯科検診 検尿検査	全園児	年額　1,000 円

6.　願書提出について

幼稚園部（1 号子ども）：聖ルカ幼稚園

保育園部（2・3 号子ども）：小浜市こども未来課

7.　こども園の一日（３・４・５歳児）

7：30～9：00　登園 （園バス 2 台運行します） 遊びの時間	朝のごあいさつと、朝のお仕事 （カバンかけ・出席シールを貼るなど、朝のお仕事の順番が決められています） 子ども達は自分で遊びを見つけます （当園では、ドイツ製の玩具や、積み木などから一人ひとりの自発性や、友達とのコミュニケーション力や社会性を養えるような遊びの環境を整えています）
9：45　朝集	お祈り（聖歌を歌い、お礼拝の静かな時間を持ちます） 季節の歌を歌い、お話を聞きます
10：00	散歩、リズム運動、モンテッソーリ活動など子どもの発達に沿った活動があります
12：00　昼食	月～金曜日まで給食があります
13：00　遊びの時間 14：00 14：30 15：00　おやつ 遊びの時間 16：00～18：30	園庭遊びや、室内で好きな遊びを選んで遊びます 1 号子どもはお帰りの準備 お祈りを皆でします 1 号子どもは 14：30 発園バス、お迎えに分かれて帰ります。 2 号子どもはおやつのあと、引き続き保育を受けます 16：00 発の園バスが出ます 順次降園

8.　こどもの姿

リズム運動・・・しなやかな心と体を育てます。

意欲・集中力・やりきる力、そして健康な体づくりは大切です。

小学校に入学した際、自立した心、強い体が自分の自信となり、安心して学校生活が送れます。

運動指導・・・月に一度、専任講師の運動指導を受けています。

体を動かすことが楽しくなる指導で、子ども達は意欲的です。

プール指導・・・西津総合公園温水プールで、年間を通してコーチの指導を受けています。

水で遊ぶことから、だんだんと顔つけができるようになりました。

英語であそぼう・・・体を使って英語に親しんでいます。ゲームやダンスなどがあり、楽しい時間です。

モンテッソーリ活動・・・子どもはみんな、その心身を自ら成長発達させる内的生命を備えています。
モンテッソーリ教育とは、子どもの成長段階をまず知り、適切な環境を整えていく「適時教育」です。

和太鼓に取り組みます。
（太鼓の先生の指導を受けます）

クリスマス・・・イエス様のお誕生劇をします。

園外保育・・・当園では園外活動を多く取り入れています。

【園バスでおでかけ】

【お散歩】

自然との触れ合い・・・自然の中で過ごすことによって子どもの感受性や感性ははぐくまれていきます。
幼児期の自然体験は心を豊かにし、五感も発達します。

【川遊び】

【海はともだち】

あそびの時間・・・・遊びを通して子どもは成長します。

教師はこども達の、一人一人に必要な発達の援助を考え、遊びのコーナーを設定します。